

水産物の市況について(平成26年7月及び8月)

—東京都中央卸売市場における平成26年7月(平成26年6月21日～7月20日集計)の市況と、
平成26年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成26年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや強含みに推移しました。

II 平成26年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、時期的に他魚種に需要が向くことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は新物の輸入ベニサケの搬入が続くものの、冷凍原料・製品合わせると全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は、魚体が小さいことからやや弱含みに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、初物としての需要があることから、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、7月がかなり高値だったことから、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は、品質の良いまぐろがとれる漁場の漁が良くないことから、横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は、初物としての需要があることから、やや強含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
26年	44	919	45	890	44	893
前年	45	859	47	802	46	796

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	464	117	98	122
さけ・ます(平均)	870	99	128	138
(ぎんざけ塩蔵品)	880	100	137	134
(あきさけ塩蔵品)	523	99	93	103
(ときさけ塩蔵品)	924	100	103	120
(べにざけ塩蔵品)	1,015	100	116	113
(さけ類冷凍品)	870	100	135	151
さば(生鮮品)	325	102	109	107
するめいか(平均)	383	86	81	99
(生鮮品)	361	84	74	92
(冷凍品)	472	98	112	127
あじ(生鮮品)	636	128	98	110
まぐろ(冷凍品)	1,257	90	104	95
(めばち冷凍品)	985	99	115	104
(きはだ冷凍品)	918	95	110	104
(くろまぐろ冷凍品)	2,684	95	82	79
(みなみまぐろ冷凍品)	2,146	96	100	95
かつお(生鮮品)	423	78	84	73
さんま(生鮮品)	492	109	74	77

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、原、安井

直通 03-3591-5612